

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ミッション

世界で最も信頼、尊敬されるインベストメント・カンパニーになることで「世界を豊かに、健やかに、そして幸せにする」を実現

運用資産残高
3兆円

基礎収益
67.22億円

残高報酬
158.57億円

② 中長期の経営戦略

1. 日本株式投資戦略

ボトムアップ・アプローチによる投資。UCITS市場初の日本株ロング・ショート・ファンドを設定。海外機関投資家の資金獲得が柱。

3. 実物資産投資戦略

再生可能エネルギー発電を主対象。太陽光・風力・バイオマス運営。蓄電所・グリーン水素事業に拡大。運用残高3,021億円。

2. OneAsia投資戦略

東京・香港・韓国のファンドマネジャーが共同調査。アジア株運用残高1,043億円。韓国株は直近3年で良好パフォーマンス達成。

4. プライベート・エクイティ投資戦略

未来創生ファンド・宇宙フロンティアファンド（2号AUM131億円）
・日本モノづくり未来ファンドを展開。運用残高1,729億円。

③ 対処すべき課題

① 4本柱のバランス強化

- ・日本株ロング・ショート戦略の海外機関投資家開拓推進
- ・価値創造投資戦略のパフォーマンス実現と資金流入加速
- ・OneAsiaアジア株の高品質運用体制構築による資金流入

② 安定性高い事業ポートフォリオ構築

- ・短期市場変動に強い投資戦略の拡充
- ・成功報酬が発生する運用資産残高の増加によるROE向上
- ・複数の投資領域による収益源の多角化

③ 責任投資の高度化・拡大

- ・価値創出に資する責任投資の推進
- ・健全な資本市場実現への老舗投資会社としての責務遂行
- ・持続可能な社会構築への貢献

面接で使えるポイント

- ・ボトムアップ・アプローチによる日本株1兆2,925億円の運用を軸に…
- ・2026年3月期にAUM3兆円達成を掲げ、4本柱を強化。グリーン水素やAI関連、宇宙開発等の新領域開拓に注力
- ・基礎収益67.22億円で過去最高更新。「世界を豊かに、健やかに」というミッション実現への責任投資を拡大推進中

証券コード 8739

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

暗記する数字3つ

連結売上高
89億円営業利益率
101.3%財務健康度
71点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 61.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収

1,255万円

証券、商品先物取引業内 6位/36社

平均年齢

49.8歳

証券、商品先物取引業内 2位/36社

平均勤続

11.0年

証券、商品先物取引業内 19位/36社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: スパークス・グループ、「未来創生4号ファンド」設立 トヨタ自

